

Nara Women's University

B. 第一編 基礎研究 第五章 15年間の育ちを見通す

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2019-03-22 キーワード (Ja): 事物認識, 縦断研究 キーワード (En): 作成者: 武田,章 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10935/5181

第五章 15年間の育ちを見通す

奈良女子大学附属中等教育学校 武田 章

1. 研究の目的

3歳から18歳までの15年間における認識の発達を追尾して、〈モノ〉〈コト〉への発達の有り様や変遷を研究する。〈モノ〉から〈コト〉へと変遷していく時期、あるいは興味関心の持ち方の変わり目や変わり方などを探り、追初心や探求心といったねばり強い思考能力を高めるために必要な、そして有効と考えられる教育課程を編成する手がかりを捉える。

2. 研究の方法

昨年度は、中等教育学校2年生のうち、附属幼稚園・附属小学校から進学した5名（男子3名、女子2名）を選び出し、幼稚園・小学校時代の様子を「どんな遊びが好きだったか」「どんな自由研究をしていたのか」などから、どのような興味関心を持っていたのかなどについて考察を加えた。

さらに、幼稚園・小学校時代の担任が直接5名の生徒にインタビューを行い、現在の興味関心事等について聞き取り調査を行った。

今年度は、現在中等教育学校3年となった5名の生徒の学校生活での様子や学習の状況等について、学級担任、総合学習「環境学」の班別フィールドワーク担当者、所属クラブの顧問から聞き取り調査を行った。

3. 学級担任等からの聞き取り調査の結果（平成19年度 中等教育学校3年）

	学級担任から見た生徒の様子	「環境学」の活動の様子	所属クラブでの活動の様子
A 男	<p>いろいろなことに興味を示す。型にはめない方がよい生徒だろう。成績も良く、授業での発表もよくする。</p> <p>ただ、まっすぐに座ることができない。最近は改善傾向にあるが、周囲に物が散乱していることがあり、落とし物が多い。</p> <p>中1の時から「京大に行く」「社長になる」と言っている。</p>	<p>班別研究テーマは、「大和川の川・池」</p> <p>班長をしており、班の中心としてよく班をまとめながら真面目に取り組んでいる。</p>	<p>■サイエンス研究会</p> <p>毎日こつこつ活動をしているわけではないが、志は高い。光合成に興味を持ち、「光無しでの光合成」という難題に挑戦している。発想力がよく能力は高いが、チームワークの力は弱い。</p> <p>■ワングル部</p> <p>熱心に活動をしているが、後輩の面倒は見る方ではない。指示されたことはするが、リーダー的ではない。</p>
B 子	<p>しっかり者で勉強も着実にこつこつする。成績優秀で物事をてきぱきこなすことができるとともに周囲への配慮も出来る。生活委員や学園祭のクラス責任者に立候補するとともに総合学習「探求」の際には班長を務めた。</p> <p>もっている力は高いが、本人曰く「言われたことは出来るが、創造的ではない」</p>	<p>班別研究テーマは、「環境対策のための最新技術」</p> <p>班長ではないが、班内の調整役であり、影の支え役。リーダー的立場も可能な生徒で、いろんな仕事をきっちりこなすことができる。</p>	<p>■器楽部</p> <p>2年から入部した。ホルン担当。大変熱心に練習に参加するとともに楽譜係も務める。いろんなことに積極的に関わっていく姿勢がある。高校になれば中心メンバーになるだろう。</p>

C 男	野球に熱中している。成績は良くもなく悪くもない。人気者であり運動が良くできるが、リーダーシップはとれそうでとらない。生徒会やクラスの委員、学園祭やスキー行事の委員等は務めていない。	班別研究テーマは、「環境政策について」 班長をしており、リーダーが出来る生徒である。	■野球部 レギュラーで活動熱心。チーム内では盛り上げ役で、みずから声を出す方である。高校でも続けると言っている。体育大会でも体育委員として中心的役割を果たす。素直で人の話が聞ける生徒である。成績も悪くない。
D 子	ピアノに熱中している。 成績は全般的によい方である。数学の成績は中程度だが、夏休み宿題の数学レポートは素晴らしかった。3年になってからよく質問に来るようになった。ただし、考え方は硬い方である。進路希望は特になし。	班別研究テーマは、「都市生活と環境」 おとなしく物静かで真面目である。まわりにあわせて動く面があるとともに、すべきことはしっかり遂行する生徒である。	■器楽部 チェロを担当していたが、「ピアノに専念したい」とのことで、1年だけで退部した。
E 男	サッカー部・テニス部に入っていたが、途中で退部した。学習面で遅れが目につき、遅刻も増加している。 ゲームが好きであるが、諸事あまり積極的でない。クラス委員等を務めることもない。進路希望も現在は特になし。	班別研究テーマは、「大和川の川・池」 特に印象が無い生徒である。	所属していない。

4. 考察

昨年の「生徒インタビュー」時の内容と比して、気づく点を挙げたい。

- A男は昨年同様に科学に対する興味関心が継続しており、サイエンス研究会でも熱心に研究活動を進めている。C男は昨年同様に野球に対する興味が最も高く、小学校以来の関心が継続していると言える。D子も昨年同様にピアノに対する興味関心が最も高く、「ピアノに専念する」ために器楽部も退部している。
- 一方、B子は昨年は「興味あることはない」などの回答が目立ったが、教員から見ると現在は器楽部の活動に最も関心があるようである。また、クラスの役員等に立候補する積極性も見せており、「自由研究」等の「勉学的・学問的分野」での興味関心よりも、「課外の自主的活動分野」での自己実現を図ろうとしているのであろう。
- E男も昨年は「興味あることはない」などの回答が目立った生徒である。教員から見ると「あまり目立たない」が「生活面や成績面で『大丈夫かな?』と気になる生徒」といえる。このような生徒は2年から4年あたりの学年においては決して珍しいわけではなく、彼らなりの「模索」を続けていることも多く、5～6年になり、自らの進路について真剣に考えざるを得なくなるとともに変容していくことが通例である。ただ、現在はある種の「未分化状態」にあるといえるかも知れない。